

「旅」上質主義 ワールド航空サービスの旅づくり

これまでも、これからも、いつまでも。
生涯の心に残る楽しい感動的な旅を。

旅に心の潤いを求めるお客様へ。私たちは1971年の創業以来、お客様の満足を最優先に考え、常に新たな挑戦を続けてきました。これが私たちの歩んできた道であり、これからも変わることはありません。お客様の期待に応えるために、私たちは多様なサービスと独自の旅づくりを続けて参りました。安心で楽しく、そして満足度の高い旅を提供するために、私たちが大切にしている理念と取り組みをホームページや印刷物でご紹介しています。私たちの旅づくりは、これまでも、これからも、いつまでも、お客様の心に寄り添い続けます。

ワールド航空サービスの「サステイナブルな旅づくり」にご協力ください

これまで海外旅行にご参加いただいたお客様に、資料発送時にお送りしていましたA4サイズのプラスチック製ファイルや、スーツケースのタグを環境配慮への取り組みとして、これまでのプラスチック製から素材を見直しました。環境負荷を低減する植物由来樹脂を一部配合したフィルムを使用。破れにくく、水をはじく素材です。印刷はベジタブルインクを使用。小型化し、2つ折りで旅のしおり等の持ち運びにもぴったりのサイズにしました。

「ワールド航空サービスの旅づくり」は印刷物でもご用意しています。ツアーもパンフレットとともにご請求ください。なおホームページからもご覧いただけます。私どもの「こだわり」をぜひご覧ください。



様々なサステイナブルな旅
づくりへの取り組みを行っています
詳しい内容は
ホームページでご覧いただけます。



●この画面は、旅行業法第12条の4による取引条件説明書面及び旅行契約が締結された場合は同法第12条の5により交付する契約書面の一部となります。お申込に際しては別途交付する旅行条件書(全文)をご確認の上、お申込みください。

ご旅行のご案内とご注意・条件(抜粋)

●旅行契約の成立

旅行契約は、当社が旅行契約の締結を承諾し、申込金を受理した時に成立します。

●旅行代金のお支払い

旅行代金は、旅行開始日の前日から起算してさかのぼって21日目に当たる日より前にお支払いいただきます。

●お支払い対象旅行代金

「お支払い対象旅行代金」とは、「旅行代金として表示した金額」と「追加代金として表示した金額」の合計額をいいます。

●旅行代金に含まれるもの

- (1) パンフレット等、当社ホームページの旅行日程に明示した次に掲げるものが含まれます。
- ① 運送機関の運賃・料金(パンフレット等に特に別途の記載がない限り、航空機の場合はエコノミークラス、鉄道は普通車を利用します。)
 - ② 送迎バス料金、都市間の移動に係るバス料金、観光に伴うバス料金
 - ③ 宿泊機関の宿泊料金及び税・サービス料金(パンフレット等に特に別途の記載がない限り1部屋に2名で宿泊した場合を基準にします。)
 - ④ 食事の料金(機内食は除く。)*及び税・サービス料金
 - ⑤ 添乗員等(企画旅行に同行して旅程管理業務を行う者等)が同行するコースにおける添乗員等の旅行費用
 - ⑥ 観光に伴うガイド料金、観光施設の入場料等
 - ⑦ 航空会社等が定める個数・重量の無料手荷物許容量の範囲内の受託手荷物運送料金
 - ⑧ 団体行動時の必要な心付け
 - ⑨ 旅行日程中の海外の空港税、通関税、同空港利用料
 - ⑩ その他(パンフレット等において、旅行代金に含まれる旨を表示したもの)
- (2) 前(1)に記載したものは、お客様の都合により一部利用できなくても払戻しの対象外となります。

●旅行代金に含まれないもの

- 上記以外は旅行代金に含まれません。その一部を例示します。
- (1) 超過手荷物料金(特定の重量・容量・個数を超える分について)
 - (2) 個人的性質の諸費用及びそれに伴う税・サービス料金
 - (3) 渡航手続関係諸費用(旅券印紙代・査証料・予防接種料金・渡航手続代行料金)
 - (4) お1人部屋を使用される場合の「1室1名利用追加代金」
 - (5) 日本国内の空港施設使用料、国際観光旅客税
 - (6) 港湾利用料、政府関連諸税等
 - (7) 燃油サーチャージ(旅行契約成立後に増額された場合は、増額分の差額は徴収し、また、減額・廃止された場合は、減額分は、払戻しをいたします。)

●お部屋について

- (1) 部屋割りは、原則としてホテル又は船会社が予め定めております。また、ホテルや船室では部屋により調度品や広さが異なる場合があります。当社ではバスタブ付き客室をご用意するよう努めておりますが、各

- 地域の特性や施設の事情によりシャワーのみとなる場合があります。
- (2) 可能な限り2人用の客室にはシングルベッドが2台の「ツインベッドルーム」をご用意いたしますが、ホテルによっては、「ダブルベッドルーム」に2台目のベッドとして簡易ベッドを入れてご利用いただく場合もございます。また、ご夫婦でご参加の際は、「1ベッドタイプ」で大型ベッド1台のみのご利用となる場合があります。(なお、「ツインベッドルーム」には2つのこベッドマットが1つの枠の中に入っている「ジャーマンツイン」の客室、2つのベッドのサイズや種類が若干異なる客室も含まれます。)

※ホテルの★の数の記載に関して

弊社では、これまで各国の正式な評価基準に基づき、利用ホテルの★の数を記載してまいりました。しかしながら、昨今は欧米の大手ホテルチェーンであっても未登録のホテルが増えています。こと、★の数が必ずしもホテルの品質を担保するものではない現状を鑑み、ホテルの★の掲載を取り止めております。なお、これまで通りツアー内容やコンセプトに合わせて可能な限り快適なホテル選定を心がけております。

●クルーズ旅行における寄港地上陸観光

船のスケジュール及び上陸観光地は乗客の安全を最優先と考え、天候やその他現地事情により、船長の判断によって予告なしに変更されることがあり、その権限は船長が持っています。また、その変更による払戻しはございません。

●航空機について

座席配列により、グループ・カップルの方でも隣り合わせにならない場合があります。なお、窓側・通路側のご希望は、すべてのご希望をかなえることは不可能ですので、ご容赦ください。

●時間帯の目安について

当社は、原則として時刻を記載した日程表を交付しておりますが、地域により時刻を記載できない一部の日程表については、下記の時間帯で表記します。

04:00	08:00	12:00	16:00	18:00	22:00
朝	午前	午後	夕刻	夜	深夜

●日程表中のマークについて

- 観光について：●＝入場観光 ○＝下車観光 ㊦＝ユネスコ世界遺産
- お食事：朝＝朝食 昼＝昼食 夕＝夕食 機＝機内食 □＝食事なし㊦＝軽食(通常よりもお体にやさしい軽めの食事です)
- 乗り物：✈＝航空機 ㊦＝バス ㊦＝列車 ㊦＝自動車 ㊦＝船 ㊦＝ロープウェイ

●本パンフレットの掲載写真と地図について

パンフレットには、よりお客様に訪問地のイメージを掴んでいただけたよう、ツアーに即した写真を掲載するように努めておりますが、必ずしも同じ角度や高度でご覧いただけるという保証ではございません。また、掲載しております地図は、およその位置関係と宿泊地、訪問地を示し、イメージを掴んでいただくためのものです。

●旅行契約の解除・払戻しについて

旅行契約が成立した後に以下の区分により定められた取消料をお支払いいただくことにより、お客様は旅行契約を解除することができます。

旅行契約の区分	適用する取消料
日本出国時又は帰国時に航空機を利用する募集型企画旅行契約並びに海外を出发地及び到着地とする募集型企画旅行契約(貸切り航空機を利用するコースを除きます。)	<表1>
日本出国時又は帰国時に貸切り航空機を利用する募集型企画旅行契約	当該パンフレット等に別途明示する取消料によりします。
旅程中に3泊以上のクルーズ日程を含む旅行でパンフレット等に別途明示があるもの	当該パンフレット等に別途明示する取消料によりします。
日本発着時共に船舶を利用する募集型企画旅行契約	当該船舶に係る取消料の規定によりします。

<表1> 日本出発時又は帰国時に航空機を利用する募集型企画旅行契約並びに海外を出发地及び到着地とする募集型企画旅行契約

旅行契約の解除期日	取 消 料
旅行開始日がピーク時の旅行である場合であって、旅行開始日の前日から起算してさかのぼって40日目に当たる日以降31日目に当たる日までで解除するとき	¥30,000 お支払い対象旅行代金 30万円未満のときは10%
旅行開始日の前日から起算してさかのぼって30日目に当たる日以降21日目に当たる日までで解除するとき	¥50,000 お支払い対象旅行代金 25万円未満のときは20%
旅行開始日の前日から起算してさかのぼって20日目に当たる日以降3日目に当たる日までで解除するとき	お支払い対象旅行代金の20%
旅行開始日の前々日に当たる日から当日(旅行開始前)までに解除するとき	お支払い対象旅行代金の50%
旅行開始後に解除するとき又は無連絡不参加のとき	お支払い対象旅行代金の100%

(注1) 旅行契約解除の申出は、当社の営業日の営業時間内をお願いします。当社の営業日の営業時間、連絡先(電話番号等)及び連絡方法は、お客様自身でもお申込時に必ずご確認ください。

(注2) 「ピーク時」とは、12月20日から1月7日まで、4月27日から5月6日まで及び7月20日から8月31日までをいいます。

(注3) <表1>の「お支払い対象旅行代金」とは募集広告又はパンフレット等に「旅行代金として表示した金額」と「追加代金として表示した金額」の合計額をいいます。

●旅行条件・旅行代金の基準

ご旅行条件につきましては、このパンフレットに記載しました契約内容・条件の他、旅行条件書(全文)、確定書面(最終旅行日程表)及び当社の旅行業約款によりします。ご旅行条件は、2024年11月1日現在の運賃・料金を基準としております。

心に残る高品質な旅 WORLD トルコの旅 東京発2025.4月▶10月出発

- ① デラックス・バスで巡る トルコ・バス大周遊3000キロの旅
- ② 国内線で巡る 連泊滞在トルコ周遊の旅
- ③ 東トルコ・ネムルート山とギョベクリ・テペ遺跡の旅
- ④ ヒッタイト王国とフリギア王国、2つの古代文明を訪ねて
- ⑤ 悠久のイスタンブール満喫の旅



圧巻の大自然と古代遺跡、
そして歴史ある古都。
神秘に包まれたトルコの大地を巡る旅へ。

イスタンブール(イメージ)

旅行企画・実施 **ワールド航空サービス**

WEBも
どうぞ

ワールド航空

検索

https://www.wastours.jp

営業時間/月曜日～金曜日 午前9:30～午後5:30(土・日・祝は休業)

ボンド保証会員

旅行業公正取引
協 会 会 員

一般社団法人日本旅行業協会正会員

□ **東京支店** TEL : 03-3501-4111

東京都千代田区有楽町1-5-1 日比谷マリビル 4階 〒100-0006 総合旅行業務取扱管理者 松崎 浩

□ **大阪支店** TEL : 06-6343-0111

大阪市北区梅田1-1-3 大阪駅前第3ビル29階 〒530-0001 総合旅行業務取扱管理者 信濃 貴宣

□ **名古屋支店** TEL : 052-252-2110

名古屋市中区栄3-14-7 RICC栄8階 〒460-0008 総合旅行業務取扱管理者 柴崎 範朗

□ **九州支店** TEL : 092-473-0111

福岡市博多区博多駅東2-5-28 博多信成ビル2階 〒812-0013 総合旅行業務取扱管理者 木村 咲子

□ **札幌支店** TEL : 011-232-9111

札幌市中央区北1条西2-1 時計台ビル 5階 〒060-0001 総合旅行業務取扱管理者 真島 智

□ **藤沢支店** TEL : 0466-27-0111

神奈川県藤沢市藤沢484-1 藤沢アンパビル 3階 〒251-0052 総合旅行業務取扱管理者 近 博之

※総合旅行業務取扱管理者とは、お客様の旅行を取り扱う営業所での取引に関する責任者です。この旅行に関し、担当者からの説明にご不明な点があれば、ご遠慮なく上記の旅行業務取扱管理者におたずねください。(株)ワールド航空サービス観光庁長官登録旅行業201号

デラックスバスで巡る

トルコ・バス大周遊3000キロの旅

15日間



ブルサのウル・モスク（グランドモスク）（イメージ）

ここに注目。旅のポイント

オスマン朝発祥の地、世界遺産ブルサに連泊します

トルコで最初に訪れる町が、オスマン帝国最初の都ブルサです。イスタンブールからマルマラ海を挟んだ向かいに位置するこの古都はシルクロードの要衝として栄え、紀元前にはマケドニア王国とも交流のあった

歴史の深い町です。オスマン朝の初代から第5代までのスルタン廟が残され、大帝国の第一歩を後世に伝えています。古都ブルサからツアーがスタートし、後の都イスタンブールで旅を締めくくります。



ブルサのウル・モスクは大きさだけでなく、内部の装飾も見事です



ツアープランナーより

トルコは日本の約2倍もの国土を持ち、人類最古の宗教施設からオスマン帝国の建築に至るまであらゆる時代の史跡や美しい自然景観が各地に点在しています。人気の観光地を効率よく国内線で移動するのもいいのですが、ゆっくり時間をかけながらバスで周遊するのも魅力的です。道中、目にするトルコの風土はより旅の印象を深め、3000キロを走破した達成感は一歩の旅でしか味わえない醍醐味。またバスの旅だからこそ、訪れる機会が少ない、ジュマルクズクやサフランボルなど味わい深い小さな町や村に立ち寄ることができます。15日間の日程で、連泊を主体にした移動のお疲れを軽減すべく、デラックスバスを利用します。旅好きの方にご注目いただきたいトルコ周遊コースです。

ローマ神話ゆかりの世界遺産アフロディシアスを訪問

名はそれほど知られていませんが、アフロディシアスもトルコの世界遺産のひとつであり、紀元前1世紀から5世紀にかけて繁栄したローマ時代の大きな都市のひとつでした。紀元前1世紀、ローマの将軍スッラがデルフィの神託に従い女神アフロディーテに斧と金の冠を奉納したことによって、その名がつけられました。近くに大理石の採掘所があり、

大理石の輸出で大きな富を得ました。素晴らしい保存状態の遺跡をお楽しみください。



遺跡をじっくりとご案内します



保存状態のいい円形劇場

宿場町として栄えた

世界遺産の古都サフランボルに連泊し散策を楽しむ

シルクロードの中継地であり、オスマン帝国時代の14世紀から17世紀にかけて宿場町として栄えたサフランボル。黒海沿岸から近く、昔は香料サフランの集積地であったことから「サフランの町」という意味でサフランボルと名付けられ、発展しましたが、近代化の波には取り残されてしまいました。しかしそれが奏功し、今も伝統的な木造家屋や隊商宿の

跡が残っています。世界文化遺産に登録されたこの町に、2連泊してご案内します。



サフランボルの旧市街散策が楽しみです



昔ながらの家並みを残すサフランボル。ひしめきあうように赤屋根の家々が建ち並びます（イメージ）

ツアーの見どころ

イズニックタイルの産地イズニックを訪問

イズニックは、オスマン帝国下で数々のモスクを彩ったタイルの産地として知られています。通常のツアーでは訪れる機会は少ないのですが、オスマン帝国の最初のモスクや博物館など見どころも豊富です。



イズニックタイルの技法はカラフルな陶器にも（イメージ）

移動にはデラックスバスを利用します

このたびは少しでもお身体のご負担を軽減できるようにデラックスバスを利用。座席の配列が2-1列のため、車内の通路が広くゆとりがあります。シートは革張りでお上品感があり、お手洗いも完備されています。



デラックスバスのゆとりのある座席（イメージ）

ご宿泊ホテル

- ブルサ：アルミラ・ホテル
 - チャナッカレ：コリン・ホテル ※シャワーのみの客室となります。
 - イズミール：ウィングダム・グランド・イズミール・オズディレック
 - パムッカレ：パム・サマル・ホテル・クリニック&スパ
 - コンヤ：グランド・ホテル・コンヤ
 - カッパドキア：ウチヒサル・カヤ
 - サフランボル：ヒルトン・ガーデン・イン ※シャワーのみの客室となります。
 - イスタンブール：スラ・ハギア・ソフィア
- イスタンブール旧市街の中心に位置するホテル。ブルーモスクまで徒歩5分程と抜群の立地を誇ります。※シャワーのみの客室となります。

※バスタブ付き客室をご用意するよう努めておりますが、各地域の特性や施設の事情及び昨今の世界的な「シャワーのみの客室」増加により、シャワーのみとなる場合がございます。

利用予定航空会社：ターキッシュエアラインズ		ツアーコード：ME031T
集合・日数・出発日		旅行代金
【成田空港集合・15日間】 2025年5月29日(木), 9月25日(木)	エコノミークラス利用 ¥598,000	ビジネスクラス利用 ¥1,118,000
(お1人でご参加のお客様は、1名室利用追加代金¥140,000にて承ります)		
ビジネスクラス利用区間：成田空港～イスタンブール間往復に適用		
燃油サーチャージ別途目安：¥68,500：11月1日現在		

地方発着追加代金	大阪・名古屋～東京 福岡・札幌～東京	片道 …… ¥5,000 片道 …… ¥10,000	包し付帯条件がございますので 各支店へお問い合わせください。
----------	-----------------------	-------------------------------	-----------------------------------

日	訪問地	スケジュール	宿泊地・食事
1	成田空港10：15発 → イスタンブール 18：00着 ≡ ブルサ21：30着	午前、成田空港より、 ターキッシュエアラインズ直行便 にてイスタンブールへ。 着後、オスマンの古都ブルサへ。 【2連泊】(ブルサ泊) □機機	
2	ブルサ	終日、オスマン帝国発祥の地、 旧ブルサ の落ち着いた行まいの町をお楽しみください。 ●ウル・モスク 、 ●オルハン・ガズイー・モスク 、 ○ブルサ・バザール など多くの見所があります。 （ブルサ泊） 朝 昼 夕	
3	ブルサ09：30発 ≡ ジュマルクズク ≡ チャナッカレ17：00着	午前、700年の歴史を誇るオスマンの古い村、 旧ジュマルクズク の散策にご案内します。 その後、チャナッカレへ。 （チャナッカレ泊） 朝 昼 夕	
4	チャナッカレ08：00発 ≡ トロイ遺跡 ≡ ベルガマ遺跡 ≡ イズミール18：00着	午前、木馬の伝説で知られる ●トロイ遺跡 の観光にご案内します。 その後、ベルガマへ。着後、ロープウェイにてアクロポリスの丘へ上がり、ヘレニズム文化の集大成ともいえる ●ベルガマ遺跡 を見学します。 見学後、イズミールへ。 （イズミール泊） 朝 昼 夕	
5	イズミール08：00発 ≡ エフェソス遺跡 ≡ パムッカレ17：00着 (石灰棚)	午前、 ●エフェソスの古代遺跡 （一部修復中）、および ●考古学博物館 をご案内します。その後、紀元前3世紀の都市遺跡 ●アフロディシアス を訪れます。 見学後、美しい石灰棚と古代遺跡で知られる パムッカレ へ。夕刻、 石灰棚 へ。 夕暮れ時のピンクに染まった景観 をご覧ください。(注) （パムッカレ泊） 朝 昼 夕	
6	パムッカレ09：30発 ≡ コンヤ18：30着	午前、ベルガモン王国以来の聖なる都市 ●ヒエラポリス遺跡 の見学。その後、アナトリアでも随一の宗教都市として発展したコンヤへ。 （コンヤ泊） 朝 昼 夕	
7	コンヤ09：00発 ≡ カッパドキア16：00着	午前、旋舞祈禱で知られる教団ゆかりの品が展示される ●メヴラーナ博物館 、 ●アラアッディン・モスク などを見学します。 その後、カッパドキアへ。 ご宿泊は静寂の奇岩群に囲まれた「洞窟風ホテル」をご用意しました。 【2連泊】(カッパドキア・洞窟風ホテル泊) 朝 昼 夕	
8	カッパドキア (神秘的な夜明け) (ウチヒサル) (カイクル) (ローズバレー)	朝 、ご希望の方はカッパドキアでの神秘的な夜明けの見学へご案内します。(注) 本日はカッパドキアの見所へご案内します。○ 要塞村ウチヒサル 、 ●暗闇の教会 、地下都市 ●カイクル などお楽しみください。 夕刻 、カッパドキアのなかでも絶景で知られるローズバレーへ。 夕暮れの景観をお楽しみください。 (注) （カッパドキア・洞窟風ホテル泊） 朝 昼 夕	
9	カッパドキア08：00発 ≡ アンカラ ≡ サフランボル18：00着	午前、トルコの首都 アンカラ へ。着後、 ●アナトリア文明博物館 、 ○アンカラ城 を見学します。 その後、サフランボルへ。 【2連泊】(サフランボル泊) 朝 昼 夕	
10	サフランボル (世界遺産の古い町並み散策)	午前、 サフランボル旧市街 の観光。オスマン朝時代の古い町並みが時がとまったかのように残る旧市街の散策にご案内します。 午後、自由行動。 （サフランボル泊） 朝 □ 夕	
11	サフランボル 08：00発 ≡ 古都イズニック ≡ カーリエ・モスク ≡ イスタンブール 17：30着	午前、訪れる機会の少ない 古都イズニック へ。着後、 ●イエシル・モスク 、オスマン朝最古の歴史を誇る ●ハジュ・オズベク・モスク などの観光にご案内。 その後、ビザンチン芸術の傑作が見られる ●カーリエ・モスク に立ち寄り、イスタンブールへ。 【3連泊】(イスタンブール泊) 朝 昼 夕	
12	イスタンブール ≡ (トプカプ宮殿) (エジプシャン・バザール) (リュステム・パシャ・モスク) (ボスポラス海峡クルーズ)	午前、 ●トプカプ宮殿 を見学。ハレム内部を含め、じっくりとご案内します。 昼食後、 ●エジプシャン・バザール の散策と自由時間。近くの ●リュステム・パシャ・モスク にご案内します。 夕刻、 ボスポラス海峡クルーズ をお楽しみください。 （イスタンブール泊） 朝 昼 □	
13	イスタンブール (アヤ・ソフィア・モスク) (ブルーモスク)	午前、 ●アヤ・ソフィア・モスク の見学。その後、2023年に修復を終えた ●ブルーモスク にご案内します。 その後、ガイドさんお断めのチャイハネで一息入れ、自由行動。 （イスタンブール泊） 朝 □ 夕	
14	イスタンブール 15：50発 →	午前、イスタンブールの空港へ。 午後、 ターキッシュエアラインズ直行便 にて帰国の途へ。 （機中泊） 朝 □ 機	
15	成田空港08：30着	午前、成田空港に到着後、解散。 機 □ □	

(注) 天候により、ご覧いただけない場合もございます。

ご旅行条件とご注意

■最少催行人員：10名様 ■食事：朝食13回、昼食10回、夕食11回 ■添乗員：成田空港ご出発時から成田空港ご到着時まで同行します。■バスポート必要残存有効期間：帰国時150日以上 ■バスポート査証未使用欄：1ページ以上

3回の国内線で効率的に巡る

連泊滞在トルコ周遊の旅 9日間



独特な赤色が鮮やかなリュステム・パシャ・モスク

ここに注目。旅のポイント

イアスタンブール旧市街の中心に3連泊

ローマ帝国、ビザンチン帝国、そしてオスマン帝国の都と繁栄の時を過ごした悠久の都イスタンブール。このたびは3連泊して、イスタンブールのシンボルともいえるブルーモスクやオスマン帝国の都を象徴する建築トプカプ宮殿、エジプシャン・バザールなどの見どころを訪ねるとともに、ボスボラス海峡を遊覧し、イスタンブールの美しい

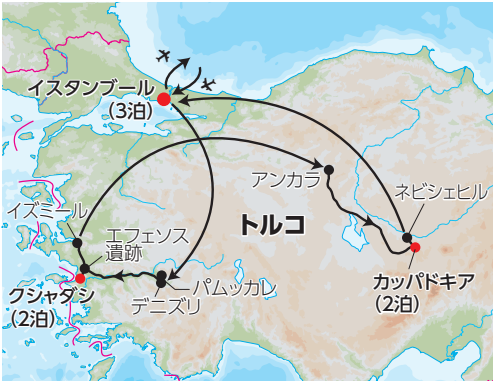
姿をご覧ください。旧市街に位置するホテルを確保し、イスタンブールを満喫します。



エジプシャン・バザール



ブルーモスクとボスボラス海峡 (イメージ)



ツアープランナーより

広大な国土を誇るトルコ。ヨーロッパとアジアに跨る世界遺産の古都イスタンブールはよく知られていますが、魅力はそれだけではありません。沿岸部には古代ギリシャや古代ローマ文明によって栄えた歴史が刻まれ、中央部から東部の山岳地帯では独特な気候と風土が作り上げた絶景が広がるなど、多様な魅力にふれることができます。しかしバスで巡るとなると移動にそれなりの時間を要します。このたびは国内線を3回利用することでバスの移動時間を大幅に減らして各地に連泊、主要な見所を巡る周遊コースといたしました。イスタンブールの3連泊、奇岩カッパドキア、綿の城の意味を持つパムッカレ、古代遺跡の町エフェソスなど、ゆったりとお楽しみください。

洞窟風ホテルに宿泊 カッパドキアの奇岩群を満喫

カッパドキアはトルコを代表する文化遺産であり、自然遺産でもある数少ない世界複合遺産です。このたびは洞窟風ホテルに宿泊し、この2つの側面からカッパドキアの魅力に迫ります。火山灰と溶岩の台地が風雨に浸食されてきた奇岩が立ち並び、約1500年前に迫害から逃れ住み着いた修道士が作ったギョレメ谷の洞窟に残る「暗闇の教会」な

ど見どころを巡ります。またツアーでは通常観光に加え、ローズバレーから絶景の夕日を眺めます。



キノコのような形をした奇岩 (イメージ)



夕日に赤く染まるローズバレー (イメージ) (注2)



トルコのツアーでは欠かすことのできない主要な見どころカッパドキア (イメージ)

自然が生んだ芸術 白く輝くパムッカレを見学

カッパドキアと並び、もうひとつのトルコの代表的な自然遺産がパムッカレです。真っ白い棚田のような風景が目の前に広がると、その美しさに多くの訪問客が感嘆の声を思わず上げてしまいます。トルコ語で「綿の城」を表すこの白い岩棚は、地中から染み出た温泉に含まれるカルシウムと炭酸が化学反応を起こし、石化したことにより形成されてきました。気の遠くなるような長い年月の末にでき上がった、まさに自然の芸術作品です。



温泉保養地として知られる一面に白い石灰棚が広がるパムッカレ (イメージ)

ツアーの見どころ

圧巻の世界遺産エフェソス遺跡をゆっくりご案内

エフェソスはエーゲ海に点在する数々の古代遺跡の中でも、屈指の規模と美しさを誇ります。ギリシャ時代から重要な交易都市として発展し、図書館など必見の遺跡が点在しています。(注1)一部、修復中の箇所がございます。



ケルスス図書館 1万2000巻ものパピルス図書館を所蔵していたとも

「ヒッタイト」の歴史にふれるアナトリア文明博物館

アンカラではアナトリア文明博物館を訪問します。なかでも注目は製鉄技術を産んだヒッタイトの陳列室。王墓から出土したスタンダードと呼ばれる青銅器や鉄製品など、貴重なコレクションです。



スタンダードの工芸品

利用予定航空会社：ターキッシュエアラインズ		ツアーコード：ME089T
集合・日数・出発日		旅行代金
【成田または羽田空港集合・9日間】 2025年 5月15日(木), 9月18日(木), 10月16日(木)	エコノミークラス利用 ¥498,000	ビジネスクラス利用 ¥1,018,000
(お1人でご参加のお客様は、1名室利用追加代金¥110,000にて承ります)		
ビジネスクラス利用区間：成田空港または羽田空港～イスタンブール間往復に適用		
燃油サーチャージ別途目安：¥74,500：11月1日現在		

地方発着追加代金	大阪・名古屋～東京 片道 …… ¥5,000 福岡・札幌～東京 片道 …… ¥10,000	包し付帯条件がございますので 各支店へお問い合わせください。
----------	--	-----------------------------------

日	訪問地	スケジュール	宿泊地・食事
1	成田空港10:35発→イスタンブール17:45着	午前、成田空港より、航空機にて、イスタンブールへ。 着後、ホテルへ。 【3連泊】(イスタンブール旧市街地区泊) ☐ 機	
2	イスタンブール (トプカプ宮殿)	午前、●トプカプ宮殿を見学。ハレム内部を含め、じっくりとご案内します。 午後、●エジプシャン・バザールの散策。また、近くの●リュステム・パシャ・モスクにご案内します。 夕刻、ボスボラス海峡クルーズをお楽しみください。 (イスタンブール旧市街地区泊) 朝 昼 夕	
3	イスタンブール (アヤ・ソフィア) (ブルーモスク)	午前、●アヤ・ソフィア・モスクの見学。その後、2023年に修復を終えた●ブルーモスク、ビザンチン芸術の傑作が見られる●カリエ・モスクにご案内します。 (イスタンブール旧市街地区泊) 朝 昼 夕	
4	イスタンブール 06:35発→デニズリ 07:45着 ㊦パムッカレ ㊦クシャダシ17:00着	朝、航空機にてデニズリへ。 着後、○石灰棚パムッカレにご案内します。丘の上には●ヒエラポリスの古代遺跡都市があります。円形劇場や浴場跡が残ります。その後、エーゲ海沿岸のクシャダシへ。 【2連泊】(クシャダシ泊) 昼 夕 ㊦	
5	クシャダシ (エフェソス遺跡)	午前、エフェソス遺跡の観光(注1)。壮麗な○ケルスス図書館、24,000人を収容できた半円形劇場、神殿、浴場など、都市遺跡が保存状態よく残っています。●考古学博物館、●聖母マリアの家、●聖ヨハネ教会などもご案内します。 (クシャダシ泊) 朝 昼 夕	
6	クシャダシ07:30発 ㊦イズミール10:05発→アンカラ11:20着 ㊦カッパドキア18:00着	朝、イズミール空港に向かいます。 着後、航空機にてアンカラへ。 午後、ヒッタイト遺跡も展示してある●アナトリア文明博物館へご案内し、カッパドキアへ。 カッパドキアでは、洞窟風ホテルに宿泊します。 【2連泊】(カッパドキア泊) 朝 昼 夕	
7	カッパドキア (暗闇の教会)	終日、カッパドキアの観光。ギョレメ谷には岩窟教会が集まり、壁画の保存状態がよい●暗闇の教会を訪れます。さらに、○ゼルベの谷、○ウチヒサル、○鳩の谷、●伝統的な洞窟スタイルの民家訪問などへご案内します。 夕方、夕陽によって赤く染められるローズバレーの散策へご案内します。(注2)	
8	カッパドキア08:30発 ㊦ネビシエヒル10:50発→イスタンブール12:20着 ㊦イスタンブール15:50発→	午前、ネビシエヒル空港に向かい、航空機にてイスタンブールへ。 航空機を乗り換え、帰国の途へ。	(機中泊) 朝 機
9	成田空港08:55着	午前、成田空港に到着後、解散。	機 機

※日程表の時刻は、成田空港発着のターキッシュエアラインズの利用を想定したものです。ターキッシュエアラインズの羽田空港発着便を利用の場合は、発着空港および時刻、日程は異なります。

(注1)一部、修復中の箇所がございます。
(注2)天候によってはご覧いただけない場合もございます。

ご旅行条件とご注意
■最少催行人員：10名様 ■食事：朝食7回、昼食6回、夕食6回 ■添乗員：成田空港または羽田空港ご出発時から成田空港または羽田空港ご到着時まで同行します。 ■バスポート必要残存有効期間：帰国時150日以上 ■バスポート査証未使用欄：1ページ以上必要

ご宿泊ホテル
■イスタンブール：スラ・ハギア・ソフィア・ホテル イスタンブール旧市街の中心に位置するホテル。ブルーモスクまで徒歩5分程と抜群の立地を誇ります。
■クシャダシ：カリスマ・デラックス・ホテル ※シャワーのみの客室となります。
■カッパドキア：ユナック・エヴレリ・カッパドキア 崖をくり抜いて造られたユニークな洞窟風ホテル。5世紀以降、実際に住居として使われていた洞窟風住居と19世紀のギリシャ風の大邸宅を全面改装して造られた雰囲気たっぷりの滞りをお楽しみください。 ※シャワーのみの客室となります。
※バスタブ付き客室をご用意するよう努めておりますが、各地域の特性や施設の事情及び昨今の世界的な「シャワーのみの客室」増加により、シャワーのみとなる場合がございます。



ユナック・エヴレリ・カッパドキア

1万2千年前の遺跡群が眠る大地へ

東トルコ・ネムルート山と

ギョベクリ・テペ遺跡の旅

10日間



ギョベクリ・テペの神殿跡

ここに注目。旅のポイント

定説を覆す遺跡「ギョベクリ・テペ」、

さらに古い最古の神殿「カラハン・テペ」へ

氷河期が終わり、海面が上昇し日本が大陸と切り離された1万2千年前、トルコ南東部、シャンルウルファの北東約20キロの丘の上には世界最古の神殿が造られていました。「ギョベクリ・テペ」と「カラハン・テペ」の両遺跡が注目されるのは、その建設

年代で、人類が農耕や牧畜を始めたとされる時期を2千年以上さかのぼるのです。エジプトのピラミッドやメソポタミアの都市国家遺跡よりなんと7千年も古い時代の遺跡ということになります。



潜在規模はギョベクリ・テペより大きいとされているカラハン・テペ



ネムルート山頂遺跡 宗教儀式の場、あるいは王の墳墓とする説がありますが謎は解明されていません

ツアープランナーより

メソポタミア文明、古代オリエントの源となったティグリス川、ユーフラテス川の源流はトルコ南東部にあります。「肥沃な三日月地帯」の中央部にして文明揺籃の地。この地から定説を覆す最古級の神殿跡が続々と発掘されています。今回は、1万2千年前の遺跡「ギョベクリ・テペ」、さらにそれよりも千年古いとされる「カラハン・テペ」の二つの古代遺跡と、東アナトリアの大地に点在する時代を超えた数々の遺跡、建造物をご紹介します。また、紺碧のヴァン湖や、見渡す限りの緑の草原、荒涼たる旧約聖書の舞台、アララト山の雄姿など、美しい自然の風景も目に焼き付いて離れません。歴史の面白さを再認識させる旅へ、お出掛けください。

いまだ謎に包まれている

神秘的なネムルート山頂遺跡を訪ねる

19世紀後半に偶然発見されたネムルート山頂遺跡。巨大な神像は紀元前1世紀にこの地方に栄えたコンマゲネ王国時代のもので、ギリシャとペルシャという東西2つの文明の影響を強く受け、大変興味深いものです。早朝、山頂近くまで行くと

まだ明けきらぬ闇の中に遺跡の輪郭が見えてきます。やがて東の空が白み始め、神々の巨大な頭部が朝日に照らされる瞬間、そこには長い眠りから覚めて生命を宿すかのような神秘的な空間が広がります。



コンマゲネ王国の王安ティオコス1世が紀元前62年に建てたとされる巨像

トルコ最大の湖ヴァン湖

自然景観と奥深い歴史を楽しむ

トルコ最大のヴァン湖東岸の町ヴァンは強大なアッシリア帝国と対抗するほど栄えたウラルトゥ王国の本拠地でした。ここでは湖に浮かぶ島へと渡り、古来のアルメニア教会を訪ねます。エメラルドブルーの湖水とアルメニア教会のコントラストはまるで絵葉書のようなです。また、トルコの至宝とされる猫がいます。世界中に千匹ほどとされる希少な猫で、

現在はヴァン猫研究所で厳重に保護されており、世界でここで見ることができます。



左右の目の色が違うヴァン猫(イメージ)



ヴァン湖とアルメニア教会(イメージ)

ツアーの見どころ

「ノアの方舟」伝説が息づくアララト山を望みます

有名な「ノアの方舟」伝説。その方舟の漂着地こそが、トルコとアルメニアの国境に位置するアララト山だと考えられています。その堂々とした姿は伝説にふさわしく、聖書の舞台に立ったかのようなのです。

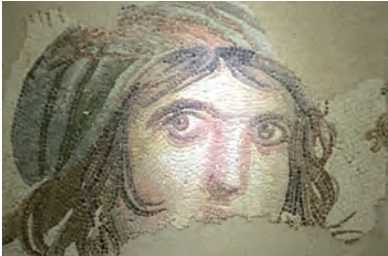


伝説の地アララト山(イメージ)

ガズィアンテップで

世界最大級のモザイク博物館を訪問

セウグマ・モザイク博物館はチュニスのバルドー国立博物館を凌ぐ規模を誇り、今やトルコの至宝のひとつ。いずれも保存状態が極めて良く、2千年近く前の作品とは思えない、まさに圧巻の博物館です。



セウグマ・モザイク博物館のモザイク「ジブシーの少女」

ご宿泊ホテル

■ガズィアンテップ：ディヴァン・ガズィアンテップ

■シャンルウルファ：アラ・ハン・ブティック・ホテル

■ネムルート山麓：ホテル・ユーフラット・ネムルート

■ピンギョル：グランド・ベルティ

■ヴァン：ダブルツリー・バイ・ヒルトン・ホテル・ヴァン

■ドゥバヤジット：ドーシェ・ホテル

※いずれのホテルもシャワーのみの客室となります。



利用予定航空会社：ターキッシュエアラインズ		ツアーコード：ME185T
集合・日数・出発日	エコノミークラス利用	旅行代金
【成田または羽田空港集合・10日間】 2025年 8月7日(木)	¥598,000	ビジネスクラス利用 ¥1,178,000
2025年 10月9日(木)	エコノミークラス利用 ¥568,000	ビジネスクラス利用 ¥1,148,000
(お1人でご参加のお客様は、1名室利用追加代金¥80,000にて承ります)		
ビジネスクラス利用区間：成田空港または羽田空港～イスタンブール間往復に適用		
燃油サーチャージ別途目安：¥74,500：11月1日現在		

地方発着追加代金	大阪・名古屋～東京 片道 …… ¥5,000 福岡・札幌～東京 片道 …… ¥10,000	包付滞在がごさいますので 各支店へお問い合わせください。
----------	--	---------------------------------

日	訪問地	スケジュール	宿泊地・食事
1	成田空港10:35発→ イスタンブール17:45着 イスタンブール20:55発→ ガズィアンテップ22:45着	午前、航空機にて、イスタンブールへ。 航空機を乗り換え、ガズィアンテップへ。 (ガズィアンテップ泊) ☐ 機機	
2	ガズィアンテップ14:00発→ シャンルウルファ 16:30着	午前、ガズィアンテップの観光。●セウグマ・モザイク博物館を見学します。 午後、シャンルウルファへ。 (2連泊)(シャンルウルファ泊) 朝昼夕	
3	シャンルウルファ → (カラハン・テペ) (ギョベクリ・テペ)	午前、●カラハン・テペ古代遺跡を参観。 午後、神殿遺跡●ギョベクリ・テペの参観。 (シャンルウルファ泊) 朝昼夕	
4	シャンルウルファ 13:00発→ ネムルート山麓 17:00着	午前、●シャンルウルファ考古学博物館にて、ギョベクリ・テペ遺跡などからの夥しい数の出土品を見学。 午後、バスにてネムルート山麓へ。 (ネムルート山麓泊) 朝昼夕	
5	ネムルート山麓12:00発→ ピンギョル18:00着	早朝、ネムルート山へ。圧巻の巨石像が待っています。 ホテルへ戻り、朝食後、休憩。ご希望の方は実費にて、コンマゲネ王朝の王宮跡アルサメミア、王朝のカラクシュ古墳、ローマ時代に架けられたジェンデレ橋にご案内します。 その後、ピンギョルへ向かいます。 (ピンギョル泊) 朝昼夕	
6	ピンギョル08:30発→ ヴァン15:00着	午前、ヴァン湖に向かいます。 着後、ヴァン湖に浮かぶアクダマル島にボートで渡り、●アルメニア教会を見学します。 (2連泊)(ヴァン泊) 朝昼夕	
7	ヴァン	終日、謎のウラルトゥ王国の都ヴァンの観光。●チャウシュ・テペ遺跡、○ホシャブ城、ヴァン城跡と●ヴァン博物館を訪ねます。 (ヴァン泊) 朝昼夕	
8	ヴァン10:00発→ ドゥバヤジット13:00着	午前、ヴァン大学獣医学科が管理するヴァン猫研究所に立ち寄ります。左右の目の色が違うヴァン猫をご覧ください。 午後、アララト山麓の国境の町ドゥバヤジットへ。着後、ノアの方舟の跡にご案内します。 (ドゥバヤジット泊) 朝昼夕	
9	ドゥバヤジット07:45発→ アール11:25発→ イスタンブール13:55着 イスタンブール15:50発→	朝、アール空港へ向かいます。 午前、国内線にてイスタンブールへ。 航空機を乗り換え、帰国の途へ。 (機中泊) 朝機機	
10	成田空港08:55着	午前、成田空港に到着後、解散。 機機機	

※日程表の時刻は成田空港発着のターキッシュエアラインズの便を想定したものです。羽田空港利用の場合には、発着空港および時刻、日程は異なります。

ご旅行条件とご注意

■最少催行人員：10名様

■食事：朝食8回、昼食7回、夕食7回

■添乗員：羽田空港または成田空港ご出発時から羽田空港または成田空港ご到着時まで同行します。

■バスポート必要残存有効期間：帰国時150日以上

■バスポート査証未使用欄：1ページ以上必要

トルコ・アナトリア地方へ

ヒッタイト王国とフリギア王国

2つの古代文明を訪ねて 9日間



ヒッタイト都ハットゥシャシュ遺跡ではライオンの門が迎えてくれます

ここに注目。旅のポイント

世紀の発見の現場 カマン・カレホユック遺跡と考古学博物館へ

1979年、三笠宮崇仁親王殿下の発意で財団法人中近東文化センターが建設され、その附属機関として1998年5月に「アナトリア考古学研究所」がカマンに置かれました。その研究所が中心となり発掘してきたのが、カマン・カレホユック遺跡です。世界最古の鉄器や世界最古級の鉄の塊がこの遺跡から発掘され、製鉄の起源はヒッタイトとする通説が覆る

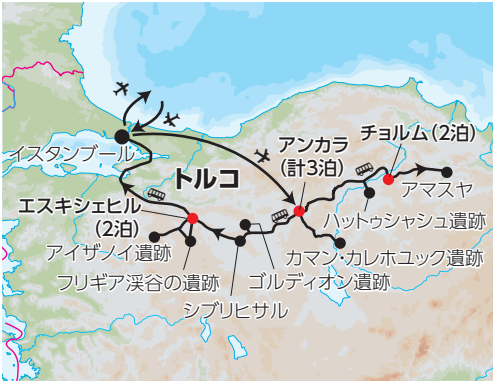
かもしれない世紀の発見といわれています。カマン・カレホユック考古学博物館と日本庭園にご案内します。



日本の資金協力により開館したカマン・カレホユック考古学博物館



様々な貴重な発見があったカマン・カレホユック遺跡（イメージ：発掘状況により遺跡は遠望となる可能性があります） ©トルコ共和国大使館・文化広報参事官室



ツアープランナーより

トルコといえばイスタンブール＝オスマン帝国のイメージが強くありますが、東西文明の十字路口であるそこは、さらに深い歴史を持ちます。その主な舞台がアジア側のアナトリア半島です。このツアーでは、鉄器と馬の使用で知られるヒッタイトの都ハットゥシャシュやヒッタイトより前の最古の鉄器が見つかった世紀の発見とも言われるカマン・カレホユック遺跡にご案内します。また、ヒッタイト後に成立したフリギア王国の都ゴルディオン、オスマン帝国へとつながるトルコの礎を築いたセルジューク朝時代の木造モスクなども訪ねます。広大なトルコにおいて、訪問地をアナトリアに絞り、オスマン帝国以前のトルコの歴史遺産を探訪する旅といたしました。

古代エジプトと覇権を争ったヒッタイトの都を探訪

紀元前1000年頃、アナトリアに強大な国を築いたヒッタイト人。ツアーではヒッタイト王国の首都として栄えたハットゥシャシュ遺跡を見学します。現在もライオンの門、スフィンクスの門が残され、当時の姿を知ることができます。また、近郊のヤズルカヤ遺跡やアラジャホユック遺跡も訪問します。3000年以上遡る遺跡のため建物などは残されていませんが、とりわけ前者の「大ギャラリー」、

「小ギャラリー」と呼ばれる美しいレリーフは必見です。



アラジャホユック遺跡のスフィンクスの門



ヤズルカヤ遺跡の見事なレリーフ

世界遺産に登録された フリギア王国の都ゴルディオンを訪問

フリギアはヒッタイトの滅亡後、紀元前8世紀にアナトリアで権勢を誇った王国です。ゴルディオンはその政治、文化の首都でした。当時の建物跡やミダス王の墳墓などが残されています。ミダス王は童話で有名な「王様の耳はロバの耳」の王様です。墳墓の墓室は現存する世界最古の木造建築ともいわれ、フリギアの文明を解明するための貴重な遺産が数多く保存されていること

から、ゴルディオン遺跡は2023年に世界遺産に登録されました。



ミダス王のモニュメント



ゴルディオン遺跡 ミダス王の墳墓

ツアーの見どころ

アナトリア最古の風光明媚な町アマスヤを散策

アマスヤは紀元前3世紀に遡るポントス王国の首都であり、アナトリアで最も古い町のひとつです。アマス

ヤ城と岩窟墳墓が残っており、セルジューク朝、オスマン帝国時代の家並みも残されています。



イエシル川沿いにはオスマン帝国時代の木造建築が残ります（イメージ）

ご宿泊ホテル

- アンカラ：アナドル・ホテルズ・エゼンボガ・テルマル
※シャワーのみの客室となります。
- チョルム：アニタ・ホテル ※シャワーのみのお部屋となります。
- アンカラ：アンカラ・ヒルトンSA
- エスキシェヒル：ラマダ・プラザ・バイ・ウィングダム・エスキシェヒル
※シャワーのみの客室となります。

※バスタブ付き客室をご用意するよう努めておりますが、各地域の特性や施設の事情及び昨今の世界的な「シャワーのみの客室」増加により、シャワーのみとなる場合がございます。

利用予定航空会社：ターキッシュエアラインズ		ツアーコード：ME180T
集合・日数・出発日		旅行代金
【成田または羽田空港集合・9日間】 2025年 4月17日(木), 10月16日(木)	エコノミークラス利用 ¥498,000	ビジネスクラス利用 ¥1,078,000
(お1人でご参加のお客様は、1名室利用追加代金¥60,000にて承ります)		
ビジネスクラス利用区間：東京～イスタンブール間往復に適用		
燃油サーチャージ別途目安：¥74,500/11月1日現在		

地方発着追加代金	大阪・名古屋～東京 片道 …… ¥5,000 福岡・札幌～東京 片道 …… ¥10,000	包し付帯条件がございますので 各支店へお問い合わせください。
----------	--	-----------------------------------

日	訪問地	スケジュール	宿泊地・食事
1	成田空港10:35発 → イスタンブール17:45着 イスタンブール19:00発 → アンカラ20:10着	午前、成田空港より航空機にてイスタンブールへ。 航空機を乗り換え、アンカラへ。	(アンカラ泊) ☐ 機機
2	アンカラ09:00発 ⇐ チョルム12:30着	午前、チョルムへ向かいます。 午後、ヒッタイト遺跡の展示が充実した● チョルム博物館 を見学。 【2連泊】(チョルム泊) 朝 昼 夕	
3	チョルム (アマスヤ)	午前、河岸の美しい景観とオスマン朝、セルジューク朝の建築の宝庫 アマスヤ へ。着後、古い建物が並ぶ旧市街、● アマスヤ博物館 を見学します。 その後、チョルムに戻ります。	(チョルム泊) 朝 昼 夕
4	チョルム08:30発 ⇐ アラジャホユック遺跡 ⇐ ヤズルカヤ遺跡 ⇐ ハットゥシャシュ遺跡 ⇐ アンカラ17:30着	午前、ヒッタイト時代より更に古い王墓が発見された● アラジャホユック遺跡 の見学。その後、聖地● ヤズルカヤ遺跡 、ヒッタイトの首首が置かれた● ハットゥシャシュ遺跡 を見学。 午後、アンカラへ。	【2連泊】(アンカラ泊) 朝 昼 夕
5	アンカラ ⇐ (カマン・カレホユック遺跡) (アナトリア文明博物館)	午前、カマンとその周辺の観光。1986年以降、三笠宮殿下らの努力によって発掘調査が進められてきたアナトリア考古学研究所が発掘作業を進めている、○ カマン・カレホユック遺跡 、● カマン・カレホユック考古学博物館 、日本庭園にご案内します。 午後、アンカラに戻り、● アナトリア文明博物館 へご案内します。 フリギア王国の出土品を中心に見学します。	(アンカラ泊) 朝 昼 夕
6	アンカラ 09:00発 ⇐ ゴルディオン遺跡 ⇐ シプリヒサル ⇐ エスキシェヒル15:00着	午前、バスにてエスキシェヒルへ向かいます。途中、フリギア王国の都として栄えた函● ゴルディオン遺跡 では「ミダス王の墳墓」や城塞、住居跡を見学します。 また、 シプリヒサルの函 ● ウル・モスク も見学します。 午後、エスキシェヒルの 旧市街散策 をお楽しみください。 【2連泊】(エスキシェヒル泊) 朝 昼 夕	
7	エスキシェヒル ⇐ (フリギア渓谷の遺跡群) (アイザノイ遺跡)	午前、ヒッタイト滅亡後に隆盛を誇ったフリギア人の遺跡群「 フリギア渓谷 」の遺跡を見学。巨大な墳墓が残された アスランタシュ 、ミダス王のモニュメントが残された ヤズルカヤ をご覧ください。 午後、保存状態の良い、ハドリアヌス帝時代の● アイザノイ遺跡 を訪ねます。	(エスキシェヒル泊) 朝 昼 夕
8	エスキシェヒル 07:00発 ⇐ イスタンブール 15:50発 →	朝、バスにてイスタンブール空港へ。 午後、航空機にて、帰国の途へ。	(機中泊) 朝 ☐ 機
9	成田空港08:55着	午前、成田空港に到着後、解散。	機 ☐ ☐

※日程表の時刻は、成田空港発着のターキッシュエアラインズの利用を想定したものです。ターキッシュエアラインズの羽田空港発着便を利用の場合は、発着空港および時刻、日程は異なります。

ご旅行条件とご注意

■最少催行人員：10名様 ■食事：朝食7回、昼食6回、夕食6回 ■添乗員：成田空港または羽田空港ご出発時から成田空港または羽田空港ご到着時まで同行します。 ■バスポート必要残存有効期間：帰国時150日以上 ■バスポート査証未使用欄：1ページ以上必要

セルジューク朝時代の多柱木造モスク

シプリヒサルの世界遺産ウル・モスクを訪ねます。木造の平らな天井と多柱から成る構造で67本もの柱で屋根を支えています。幾何学模様や花柄があしらわれた説教台は傑作といわれています。



シプリヒサルのウル・モスク

ヨーロッパ側の旧市街、散策に便利な立地のホテルに6連泊

悠久のイスタンブール満喫の旅

8日間



トプカプ宮殿 ハレム 皇帝の間

ここに注目。旅のポイント

今も移り変わるイスタンブールをしっかりとご案内します

時代により多様な表情を纏ってきた悠久の古都イスタンブール。元々はキリスト教の聖堂だったアヤ・ソフィアがモスク化するなど、現在進行形で歴史が動くこの街の最旬スポットへとご案内します。オスマン帝国の都を象徴する建築トプカプ宮

殿では、観覧可能エリアが約2倍に拡充された内部をじっくりと見学。数年の修復を経て2023年春から再公開となった通称「ブルーモスク」も必見で、輝きを取り戻した姿は往時の威光を感じさせます。



世界で最も美しいモスクとも言われるブルーモスク(イメージ)



再びモスクとして利用されるようになったアヤ・ソフィア

ツアープランナーより

ボスポラス海峡を挟んで、世界で唯一ヨーロッパとアジアの2つの大陸にまたがるトルコ最大の都市イスタンブール。かつて、東ローマ帝国、オスマン帝国という延べ1000年以上にわたり続いた大帝国の都であり、古くから多民族が行き交った「東西文明の十字路」は、いまま世界の旅人が行き交う一大国際都市です。この西洋と東洋が混在した悠久の歴史が息づくイスタンブールの魅力をじっくりと味わえるよう、宿泊するホテルはヨーロッパ側の旧市街、散策に便利な立地にこだわりました。ゆったり6連泊しますので、修復を終え輝きを増したアヤ・ソフィアをはじめとする世界遺産の歴史地区や、天才建築家シナンのモスク巡り、金角湾のフェリー乗船など、悠久の古都をご堪能いただけます。イスタンブールが初めての方はもちろん、再訪の方にもおすすめいたします。

宮廷建築家ミマール・シナンの傑作建築を巡ります

オスマン帝国随一の宮廷建築家として知られるミマール・シナン。約50年にわたり皇帝直属の建築家として活躍し、81のモスクをはじめ、神学校、霊廟、給水所、病院、水道橋、宮殿など、信じられないほど多くの建造物を手がけました。行程4日目はこのシナン建築をテーマに、個性的な3つのモスクを巡る観光へご案内します。



かわいらしい内装のミフリマー・スルタン・モスク



これぞイスタンブールという風景を構成するスレイマニエ・モスク(イメージ)

東ローマ帝国の栄華 ビザンチンの面影を訪ねて

モザイク画やフレスコ画で知られるカーリエ博物館が、2024年5月にカーリエ・モスクとして再オープン。東ローマ帝国時代にキリスト教の聖堂として建立。オスマン帝国時代にはモスクとなり、偶像崇拜を禁じたイスラムの教えにより内装が漆喰で封じられていましたが、それが逆に保護の役割を果たしました。1000年の時を超えて蘇ったビザンチン芸術の傑作をご覧ください。また、テオドシウスの城壁やコンスタンティノープル世界総主教座の見学など、東ローマ帝国の栄華を偲ばせる見どころもご案内します。



テオドシウスの城壁



イスタンブールの世界遺産のひとつ、カーリエ・モスク

ツアーの見どころ

ピエール・ロティ山頂のチャイハネから街を一望

エユップではケーブルカーに乗り、トルコを愛したフランス人作家の名を持つ小高い丘ピエール・ロティの山頂へ。絶好のロケーションにあるチャイハネを訪れ、チャイと共に金角湾や新旧市街地の眺望をお楽しみいただけます。



ピエール・ロティ山頂でひと休み(イメージ)

バザールを見下ろす有名レストランでの昼食

エジプシャン・バザールの建物の2階の片隅にあるレストラン「パンデリ」での昼食をご用意しました。トルコの著名人から政界の大家までが通ったという名店で、かつてはオーディリー・ヘップバーンも来店したといえます。



レストラン「パンデリ」有名なグルメガイドブックにも掲載されています

ご宿泊ホテル

■ヨーロッパ側イスタンブール 旧市街：スラ・ハギア・ソフィア・ホテル
ヨーロッパ側、旧市街の中心に位置する「スラ・ハギア・ソフィア」に6連泊。アヤ・ソフィアやブルーモスクへは徒歩約5分、トプカプ宮殿など旧市街の見どころのほとんどが徒歩約10分程度圏内という抜群の立地のホテルを確保しました。



スラ・ハギア・ソフィア・ホテル

※バスタブ付き客室をご用意するよう努めておりますが、各地域の特性や施設の事情及び昨今の世界的な「シャワーのみの客室」増加により、シャワーのみとなる場合がございます。



利用予定航空会社：ターキッシュエアラインズ		ツアーコード：ME007T
集合・日数・出発日		旅行代金
【成田空港集合・8日間】 2025年9月24日(水), 10月8日(水)	エコノミークラス利用 ¥475,000	ビジネスクラス利用 ¥1,055,000
(お1人でご参加のお客様は、1名室利用追加代金¥110,000にて承ります)		
ビジネスクラス利用区間：成田空港～イスタンブール間往復に適用		
燃油サーチャージ別途目安：¥68,500/11月1日現在		

地方発着追加代金	大阪・名古屋～東京 片道 …… ¥5,000 福岡・札幌～東京 片道 …… ¥10,000	包し付条件がごさいますので 各支店へお問い合わせください。
----------	--	----------------------------------

日	訪問地	スケジュール	宿泊地・食事
1	成田空港10:35発 → イスタンブール17:45着 → ヨーロッパ側イスタンブール	午前、成田空港よりターキッシュエアラインズ直行便にてイスタンブールへ。着後、バスにてホテルへ。	【6連泊】(イスタンブール泊) ☐ 機
2	イスタンブール (アヤ・ソフィア、ブルーモスク)	午前、再びモスクとして利用されるようになった●アヤ・ソフィアを訪ねます。その後、修復を終えた●スルタン・アフメット・モスク(ブルーモスク)の見学。その後、自由行動。	(イスタンブール泊) 朝 昼 ☐
3	イスタンブール (トプカプ宮殿、エジプシャン・バザール、ボスポラス海峡クルーズ)	午前、修復が完了し、見学可能な箇所が2倍に拡大した●トプカプ宮殿をじっくりと見学。ハレム内部もご案内します。昼食後、エジプシャン・バザールの散策と自由時間。夕刻、ボスポラス海峡クルーズをお楽しみください。	(イスタンブール泊) 朝 昼 夕 ☐
4	イスタンブール (ミマール・シナンの3つの傑作モスク)	終日、ミニバスにてオスマン帝国時代の建築家ミマール・シナンが手掛けたモスク巡りへ。師弟時代に作られた●リュステム・パシャ・モスク、●ミフリマー・スルタン・モスク、イスタンブールにおける傑作●スレイマニエ・モスクへご案内します。また、近くの○テオドシウスの城壁、●カーリエ・モスクもご覧ください。	(イスタンブール泊) 朝 昼 夕 ☐
5	イスタンブール	終日、自由行動。ご希望の方は、添乗員がアジア側のイスタンブールにご案内します。	(イスタンブール泊) 朝 ☐ ☐
6	イスタンブール (コンスタンティノープル世界総主教座)	午前、イスタンブールの新市街と旧市街を分かつ、金角湾をのんびりとフェリーで移動。左右の景色を楽しみながら、フェネル栈橋へ。ここでフェリーを途中下船し、●コンスタティノープル世界総主教座の見学。その後再びフェリーに乗り、終点のエユップ栈橋へ。エユップ栈橋着後、イスラム関連のお店が建ち並び栈橋近辺の散策。その後、ケーブルカーに乗ってピエール・ロティの丘の上へ。チャイハネにて小休憩。	(イスタンブール泊) 朝 ☐ 夕 ☐
7	イスタンブール 15:50発 →	出発までごゆっくりお過ごしください。午後、ターキッシュエアラインズ直行便にて、帰国の途へ。	(機中泊) 朝 ☐ 機 ☐
8	成田空港08:55着	午前、成田空港に到着後、解散。	機 ☐ ☐

※観光順番は宗教行事等により、入れ替えてご案内する可能性があります。

ご旅行条件とご注意

■最少催行人員：10名様 ■食事：朝食6回、昼食3回、夕食3回 ■添乗員：成田空港ご出発時から成田空港ご到着時まで同行します。 ■パスポート必要残存有効期間：帰国時150日以上 ■パスポート査証未使用欄：1ページ以上必要